

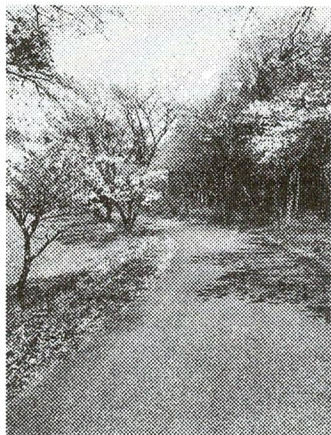
村制施行百周年記念事業の桜並木守れ！

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目 59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



村制百周年記念事業の桜並木



衣川地域には、昭和59年に村制百周年記念事業として、市道沿線約13キロメートルに、ソメイヨシノやしだれ桜が2560本植樹されています。管理は各行政区ごとに行うことになっていますが、高齢化や人口減少により、管理が困難



菅原明議員

奥州市議会9月定例会は、8月30日開会し、9月27日まで開かれます。日本共産党奥州市議団は、3日から始まった一般質問に登壇しました。今号では、菅原明議員の質問を紹介します。

になりつつあります。また、問題として病害虫による被害も多くみられ、合わせて伸びすぎた枝が通行の妨げにもなっている箇所も出ています。菅原明議員は、早めに対処し、桜並木を活用して奥州市の観光振興に結び付けていくことが必要ではないかと質しました。

民間活力を活用する

倉成淳市長は「市では、病気になる前の枝の選定や、処理を実施するため、本年度から予算を増額して対応することとしている。道路延長、本数ともに膨大なもので、引き続き地域との協働による対応を基本としながら、クラウドファンディングなどの民間活力の活用を視野に入れた管理手法や、維持に必要な調査の実施を検討したい。なお、桜並木を活用した観光振興は、ホームページなどの情報発信により、誘客につなげていきたい」と述べました。

市道の環境整備は迅速に

衣川地域内に高速道と市道が交差するボックスカルバート（左写真）が6カ所、県道と交差する路線が1カ所合わせて7カ所あります。

菅原明議員は、ボックスカルバートを通行する際、高速道路の法面の草木が市道にはみ出て、交通の妨げになっている部分が見受けられるので、環境整備を万全にしたいと、東日本高速道路株式会社（以下、ネクスコ東日本）に申し入れを行うべきであると質しました。

倉成市長は「ボックスカルバート周辺の管理責任者は、ネクスコ東日本であることから、市道の通行に支障がある草木などは、市から同社に連絡して対応いただいている。倒木などで市道の通行できないときなど、早急な対応が必要な際には、市が処理している。今後は、管理責任者である同社に、計画的な環境整備

の実施を要望していく」と述べました。



一人の声がまた一つ動かしだす ～訪問看護～

日本共産党
衆議院議員
高橋ちづ子

8月29日

零細な訪問看護事業所から、厚労省の診療報酬改定による加算措置が7月1日締切で間に合わなかったとの相談を受け。厚労省に問い合わせた時は「周知は団体を通じて徹底している。締切は締切」との回答。しかしその後、他の事業所からも相談があり、改めて6月に遡って請求できることになったと厚労省

から連絡がありました。私に相談をくれた方は、社長兼看護師兼事務局長。そもそも事務が大変なうえに、厚労省が周知したという団体協議会の窓口は、訪問看護を直接やっているところではなかったのです。このことを伝えた時は、「そうでしたか、今後の教訓に」みたいな対応でしたが、今日の連絡では、厚労省も「加算とれるか否かで零細な事業所は経営の存続にかかわる」と認識を深めたようです。そもそも細かい診察報酬は、全ての事業者が同じケースではないため、私が話した方のような場合がありうる、ことを認めました。今回は岩手県内の民商を通して相談を受けました。

具体的な自殺予防策を

菅原明議員は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、自殺の要因となり得る様々な問題が悪化したことなどにより、特に女性や小中高生の自殺者が増加していると報じられていることから、奥州市の現状と、予防策の取り組みについて質しました。

倉成市長は「自殺者は令和4年以降増加に転じている。警察庁自殺統計によると、令和元年

103人の方が自殺で亡くなり、全国と比較すると、20歳未満の割合が高く、そのほか男性の50代、70代、女性の70代以上に多いのが特徴。自殺の原因としては、『健康問題』が最も多く、次いで『経済、生活問題』『家庭問題』の順になっている。今後、第2次奥州市自殺対策計画を策定し、誰もが自殺に追い込まれることのない奥州市の実現を目指す」と述べました。